

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	消防車両等整備事業				シート番号	090-013
担当部署名	消防	局	警防	部	警防	課 評価責任者(課長名) 小枝

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	消防組織法、堺市消防機械器具管理整備規程			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	消防体制を維持するため、計画的に施設整備を行っているもの。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	消防施設整備			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	消防車両等の計画的な更新により、消防力の充実及び強化を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	経過年数及び走行距離により、更新対象となる消防車両等を抽出。庁内委員会に諮り更新車両を決定する。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
10	直接実施以外の主な支出先	石油貯蔵施設立地対策等交付金施設				

Ⅲ. 投入量

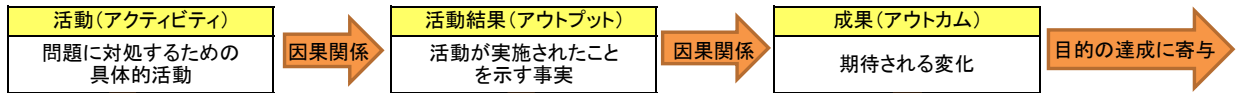
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	890,592	869,154	473,205	455,453	369,136	329,990	645,113	
	主な事業費内訳	車両購入費	千円	199,024	177,776	472,503	454,771	368,541	329,512	643,950
		役務費・公課費	千円	939	830	702	537	595	478	1,163
		消防艇建造関連	千円	690,629	690,548					
		改修工事費	千円				145			
	財源内訳	国・府支出金	千円	77,363	76,384	76,384	73,879	73,879	93,654	57,000
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円	800,400	781,400	392,500	376,000	288,800	232,700	580,300
		その他()	千円							
		一般財源	千円	12,829	11,370	4,321	5,574	6,457	3,636	7,813
	12	人件費 (b)	千円	8,200	8,200	16,400	16,400	16,200	16,200	16,400
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	898,792	877,354	489,605	471,853	385,336	346,190	661,513	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	消防車両等整備事業	シート番号	090-013
-------	-----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	当初の計画のとおり、車両8台の更新を行った。 実績: はしご水槽付消防ポンプ車 1台 特殊化学車 1台 水槽付きポンプ車 1台 救急車 3台 その他車両 2台						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		消防車両等整備(更新及び増強台数)	台	目標値	10	8	8	12
				実績値	10	8	8	
				達成率	100%	100%	100%	
				評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		各車両の更新時期を元に検計					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		消防力の整備指針に基づく車両の整備(消防車両配置台数)	台	目標値	86	85	85	85
				実績値	82	83	83	
				達成率	95%	98%	98%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		整備指針に基づく					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	消防車両等の購入	台	10	8	8
	②	上記①にかかる年間経費	千円	199,024	429,303	325,355
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	19,902,400	53,662,875	40,669,375
	備考(算出についての説明等)		消防車両等の購入は、毎年度に購入車両が有り、車種の違いにより各年度の価格に差が生じます。			
18	区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	計画どおり更新できた要因として、早期から計画や検討をしたことが考えられるため、今後も引き続き計画的におこなう必要がある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	消防車両等整備事業	シート番号	090-013
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 安心・安全なまちづくりを推進するためには、消防力の充実・強化は必要不可欠であり、消防車両の整備を進める必要があることから、当該事業を廃止した場合には市民の安全・安心が低下となり、市民生活に大きな影響が及ぶと考える。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 消防局が使用する車両は長期使用に伴う老朽化で使用不能となる前に更新しなければならず、消防局が使用する車両の更新によって市民の安全と安心に繋がるものであることから、当該事業の廃止は不可能と考える。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 近隣政令市等と定期的に情報交換を実施するなど、当該事業を効果的に実施できるように努め、年間の車両購入を平準化することや、仕様の見直しを行うことで、コスト軽減に向けて取り組んでいますが、物価の上昇や、購入する車両のモデルチェンジや、更には緊急自動車製作のぎ装メーカーでの製作コスト上昇などにより、必要とする費用においても上昇の傾向が見られることから、コスト縮減は困難である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 事業者適切に対応するよう指導している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 消防車両整備による消防力の充実及び強化については、消防行政が実施すべき事業であることから、近隣政令市等と定期的に情報交換を実施するなど効果的・効率的な事業の実施を行う。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	消防は人員と消防車両等を活用して災害対応を行い、市民の生命、身体、財産を保護するため、当該事業は効果的・効率的な事業実施する手法は検討しつつ、事業を継続していく必要がある。		